



"Happiness Helps Healing"

- ・ごあいさつ
- ・2016年6月～2016年8月の活動報告
- ・2016年6月～2016年8月トピックス
- ・在宅訪問開始の報告
- ・参加者の声
- ・アーティストエッセイ
- ・兄弟支援について
- ・活動アシスタントコメント
- ・団体概要アップデート 後記



7/6 大阪市立総合医療センターにて
たつきゆうさんの大道芸



7/6 大阪市立総合医療センターにて
すみとかけの音楽あそび

ごあいさつ

おかげさまで10号目の発行となりました！
2012年5月に活動を開始、同年12月にNPO設立、そして2014年2月にニュースレターを創刊、その翌年から季刊となりました。事業を軌道に乗せることに懸命のあまり、ご支援くださる方々に感謝の気持ちをお伝えすること、活動のご報告をすることもままならないほどの慌ただしさでしたが、運営ボランティアが増えたことにより、事務局が安定し、昨年から年4回の発行が実現、スマイリングホスピタルジャパンの成長を季節ごとにお伝えすることができるようになりました。
第2号からは英文のレターも発行しています。ホームページ English Page にリンクしています。

各地区では、北海道、石巻、仙台、千葉、東京、神奈川、静岡、京都、大阪のコーディネーターが各チームをまとめ盛り上げ、スタッフが丸となって病院や施設の子どもとご家族に「特別のひととき」を届けながらさらなる活動向上に向け奮闘しています。

7月には予めから準備していた「在宅訪問」を千葉にて開始しました。また、宮城県立こども病院と宮城県拓桃医療療育センターが統合され、こども病院の新病院棟「拓桃館」が3月にオープン、こちらでも7月に活動を始めました。今月は愛知地区も誕生します。2つの病院での導入が決定し、現在準備中です。

これまで、子どもたちやご家族にアンケートをとらせていただき、より喜んでいただける活動を工夫してきましたが、このたび、医療、発達の専門家の観点から、SHJの「芸術の専門家による定期、個別、参加型活動」の、現場にもたらす影響についてご意見、ご感想をいただき、今後の活動のさらなる改善と向上に役立てたいと考え、医師、看護師、保育士の方々にアンケートをお願いしているところです。

今後とも、スマイリングホスピタルジャパンを支えてくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

スタッフ一同



7/25 日赤医療センターにて
近藤麻智子の絵本ヨガ&読み聞かせ

●2016年6月～2016年8月の活動報告

	活動実施日	活動場所	活動内容	担当	参加人数
1	6/1 (水)	神奈川県立こども医療センター 5 西病棟	子どもジャズ&ブルース	石橋和子	12
2	6/1 (水)	東大病院 北南小児病棟	ちぎり絵ワークショップ	Laki Ohana	18
3	6/1 (水)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽あそび	豊雅子&金愛利	7
4	6/2 (木)	大阪市立総合医療センターさくら6すみれ6病棟	即興演劇を楽しもう	カクテルホイップ	28
5	6/6 (月)	日赤医療センター 小児病棟	英語でマジック!	クラウディ	16
6	6/6 (月)	千葉県こども病院	ペーパークラフト	天羽ひさ子	10
7	6/10 (金)	神奈川県立こども医療センター4 東病棟	塗り絵ワークショップ	真鍋麻里	16
8	6/13 (月)	日赤医療センター 小児病棟	英語の歌あそび	堀越美恵子	28
9	6/14 (火)	慶応病院 6E 小児病棟	弾き語り何でもリクエスト	眞理さん	12
10	6/15 (水)	神奈川県立こども医療センター5 西病棟	虹いろスタンプアート	ぴいすけ	9
11	6/15 (水)	京都大学病院 小児病棟	即興演劇を楽しもう	カクテルホイップ	21
12	6/15 (水)	東大病院 北南小児病棟	二胡演奏	近藤多英子	25
13	6/16 (木)	慶応病院 5S 小児病棟	語り	川島昭恵	8
14	6/17 (金)	北海道大学病院 小児病棟	大道芸パフォーマンス	福井陽翔人	18
15	6/17 (金)	大阪市立総合医療センターさくら8病棟	音楽あそび	西純江&金愛利	9
16	6/20 (月)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽あそび	豊雅子&金愛利	12
17	6/20 (月)	日赤医療センター 小児病棟	弾き語り何でもリクエスト	眞理さん	23
18	6/24 (金)	神奈川県立こども医療センター4 南病棟	塗り絵ワークショップ	真鍋麻里	13
19	6/27 (月)	静岡県立こども病院 西病棟	音楽会	Bon Vivant	24
20	6/27 (月)	大阪市立総合医療センターすみれ6病棟	音楽あそび	豊雅子&西純江	14
21	6/27 (月)	大阪市立総合医療センターさくら6病棟	コミックジャグリング	たつきゆうさん	9
22	6/27 (月)	日赤医療センター 小児病棟	音楽 バルーン&ジャグリング	ガイ	27
23	6/27 (月)	日赤医療センター 付属乳児院	音楽 バルーン&ジャグリング	ガイ	36
24	6/28 (火)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	ヒーリングセッション	玉井澄恵&西純江	13
25	6/28 (火)	宮城県立こども病院	エコけん玉を作ろう	清水千佳	38
26	7/1 (金)	大阪市立総合医療センターさくら8病棟	マジック	野末隼	15
27	7/3 (日)	あいち小児保健医療総合センター	コミック大道芸	たつきゆうさん	70
28	7/4 (月)	千葉県こども病院 4 階東・西病棟	弾き語り何でもリクエスト	眞理さん	50
29	7/4 (月)	日赤医療センター 小児病棟	ピアノ弾き語りコンサート	高橋紀子	21
30	7/4 (月)	日赤医療センター 付属乳児院	ピアノ弾き語りコンサート	高橋紀子	41
31	7/6 (水)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽あそび	豊雅子&金愛利	12
32	7/6 (水)	大阪市立総合医療センター6,7 階病棟	音あそびと歌あそび	西純江&大橋翔	9
33	7/6 (水)	大阪市立総合医療センター6,7 階病棟	コミック大道芸	たつきゆうさん	15
34	7/6 (水)	神奈川県立こども医療センター5 西病棟	歌のお兄さん&お姉さん	湯浅ゆう子&天野翔太	22
35	7/6 (水)	東大病院 北南小児病棟	塗り絵ワークショップ	真鍋麻里	27
36	7/8 (金)	神奈川県立こども医療センター4 西病棟	みんなでボサノバ!	Satoko	9
37	7/11 (月)	日赤医療センター 小児病棟	クレイアート	藤江智美	8



	活動実施日	活動場所	活動内容	担当	参加人数
38	7/12 (火)	慶應病院 6E小児病棟	語りの会	川島昭恵	10
39	7/14 (木)	在宅訪問 (船橋市)	ピアノ弾き語りリクエスト	矢田美麗	5
40	7/15 (金)	北海道大学病院 小児科	ティシュアート	松川敦子	14
41	7/20 (水)	大阪市立総合医療センター6,7階こども病棟	即興演劇	カクテルホイップ	14
42	7/20 (水)	神奈川県立こども医療センター5西病棟	塗り絵ワークショップ	真鍋麻里	8
43	7/20 (水)	東大病院 北南小児病棟	音とことばの読み聞かせ	トッテカルーン	26
44	7/20 (水)	京都大学病院 小児病棟	ジャグリングショー	たつきゆうさん	15
45	7/21 (木)	慶應病院 5S小児病棟	弾き語りなんでもリクエスト	眞理さん	10
46	7/21 (木)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	ヒーリングセッション	玉井澄恵 & 西純江	12
47	7/25 (月)	静岡県立こども病院 北4・北5病棟	音楽会	Bon Vivant	23
48	7/25 (月)	日赤医療センター 小児病棟	お話の世界で遊ぼう	近藤麻智子	33
49	7/26 (火)	宮城県立こども病院	木琴と笛のコンサート	穴戸素子 & 渡部直美	20
50	7/26 (火)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽あそび	豊雅子 & 西純江	9
51	7/28 (木)	宮城県立こども病院 拓桃館	歌のコンサート	伊藤郁子 & 渡部直美	53
52	7/29 (金)	石巻赤十字病院 小児病棟	音楽あそび	千葉淳子	8
53	7/30 (土)	東京女子医大病院筋ジス親子の会	陶芸教室	越智伸明	36
54	8/1 (月)	千葉県こども病院	似顔絵ポートレート	水野ぷりん	12
55	8/1 (月)	日赤医療センター 小児病棟	からくりペーパークラフト	天羽ひさ子	14
56	8/3 (水)	神奈川県立こども医療センター5西病棟	ジャグリング&パルーン	StreetPerformer RYU	36
57	8/3 (水)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽あそび	豊雅子 & 金愛利	6
58	8/8 (月)	日赤医療センター 小児病棟	弾き語りなんでもリクエスト	眞理さん	36
59	8/8 (月)	日赤医療センター 乳児院	弾き語りなんでもリクエスト	眞理さん	45
60	8/9 (火)	慶應病院 6E小児病棟	こども寄席&読み聞かせ	歌舞狸家イズミン	8
61	8/12 (金)	神奈川県立こども医療センターハイケア2病棟	モンスターになろう	佐々木優子	4
62	8/15 (月)	日赤医療センター 小児病棟	みんなでボサノバ!	Satoko	27
63	8/17 (水)	東大病院 北南小児病棟	クレイアート	藤江智美	26
64	8/17 (水)	京都大学病院 小児病棟	リズムあそび	大橋翔	13
65	8/17 (水)	神奈川県立こども医療センター5西病棟	クラウン パントマイム	マサトモジャ	22
66	8/18 (木)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽あそび	豊雅子 & 金愛利	7
67	8/18 (木)	慶應病院 5S小児病棟	歌のおねえさん	湯浅ゆう子	24
68	8/19 (金)	大阪市立総合医療センター さくら8病棟	即興演劇	カクテルホイップ	15
69	8/19 (金)	北海道大学病院 小児科	三味線演奏	佐久間信語	12
70	8/23 (火)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	ヒーリングセッション	玉井澄恵 & 西純江	12
71	8/23 (火)	宮城県立こども病院 拓桃館	音楽であそぼ!	トッティ	42
72	8/24 (水)	療育室つばさ	クラウン パントマイム	マサトモジャ	45
73	8/25 (木)	重症心身障害児サポート 中野ドリーム	みんなでボサノバ!	Satoko	13
74	8/26 (金)	神奈川県立こども医療センターこころの病棟	塗り絵ワークショップ	真鍋麻里	2
75	8/29 (月)	静岡県立こども病院 西3・西6病棟	大道芸	あまる	47
76	8/29 (月)	日赤医療センター 小児病棟	歌のお姉さん	湯浅ゆう子	38



77	8/29 (月)	大阪市立総合医療センター すみれ6病棟	ヒーリングセッション	玉井澄恵&大橋翔	13
78	8/30 (火)	大阪市立総合医療センター さくら6病棟	ジャグリングマジックショー	ジャグラーGT	20
79	8/31 (水)	大阪市立総合医療センター さくら7病棟	ヒーリングセッション	玉井澄恵&西純江	26
80	8/31 (水)	大阪市立総合医療センター すみれ7病棟	マジック&ジャグリング	たつきゆうさん	21

*2016年6月1日~2016年8月31日(3か月間) 合計活動数 80回 合計参加者数 延べ 1627人

●トピックス

- 7月 3日 あいち小児保健医療総合センターの夏祭りに、大道芸プログラムで参加しました。
- 7月 3日 FIAT Birthday FESTA 2016 にクラウンと大道芸で参加、来場者よりたくさんの募金がありました。
- 7月 22日 あいち小児保健医療総合センターと名古屋大学医学部附属病院にて、定期活動の打ち合わせがありました。愛知地区立ち上げボランティアミーティングを行いました。
- 7月 28日 宮城県立こども病院新病院棟「拓桃館」にて活動を開始しました。
- 8月 25日 重症心身障害児者サポート「なかのドリーム」にて活動を開始しました。
- 8月 25日 NPO サポートセンター主催「ファンドレージング講座」を受講しました。
- 8月 31日 東京ボランティア・市民活動センター主催「NPO&施設のためのビジネス基礎講座」を受講しました。

●在宅訪問事業が始動しました！

2016年3月号で「在宅訪問に向けた準備開始」とご報告いたしましたが、おかげさまで7月に訪問を開始しました。限られた時間を在宅医療、看護を受けながら家族と共に過ごす、または重い障がいのために常時人工呼吸器や中心静脈栄養などの医療ケアを受けながら自宅で生活する子どもたちにも、入院中の子どもと同じように、治療への励みと生きる喜びにつながる豊かな時間、ご家族の気分転換の機会を提供できるよう取り組んでいます。患者会や訪問看護ステーションなどにご協力いただき、実現いたしました。事業担当責任者兼千葉地区コーディネーター及びSHJアーティストの矢田美麗が、自ら演奏活動した、ある訪問風景を交え、事業開始について報告します。

2016年7月。

「おうちで頑張っている子どもたちへのアートデリバリー」として、在宅医療を受けているお子さまのお宅へ訪問演奏に伺ってまいりました。入院や治療、通院を経て、在宅医療へ切り替わる子どもは多くいます。その実態は計り知れず、スタートが大変遅れてしまいましたが、今回は、私自身の子どものお父さま・・・仮に、「A君」としますが、A君と我が子が同じ病気で闘病をしたというところから、運良く繋がることができ、今回の訪問に至りました。ご自宅も、私と同じ千葉県ということで、とても身近に感じられました。お母様とお父様、そしておばあちゃん、お母様の妹さんに迎えていただき、演奏スタート。事前に伺っていた、A君の好きなアニメの主題歌に始まり、クラシックやポップス、ジブリやディズニーなど、幅広く、そして個別訪問ということで、大変長い時間、演奏させていただきました。長い時間でしたが、実際にはあっという間で・・・。A君も、時折「グッド！」の指で親指を立ててくれたり、腕を振って合図を送ってくれたり、その意思表示がとても力強く、とても嬉しかったです。終わりには、お母様から「これは最後に聴きたいです」とリクエストのあった、と同時に、私も「この曲は最後に歌おう」と決めてきた曲がありました。

「My wish」。

小児がんで、15歳でお空に行かれた、Maiちゃんという女の子が書いた歌詞。私の娘も、この曲が、大好きでした。お母様もこの曲をご存じだったということで、またここにも繋がりを感じて・・・。

すべての演奏が終わり、「またぜひお願いします」と言っていただき、「この活動(在宅訪問のアートデリバリー)は、絶対に今後も必要な活動だ」と改めて実感。お家での看護はそれはとても大変で、想像を絶するものがあり、実際には「それどころじゃない！」と思われる方もいらっしゃることでしょ。

その大変さは、第三者には到底計り知ることはできません。

しかしながら、少しの時間でも、音楽でリラックスできる時間を共有したり、あるいはマジックやお笑いなどで大笑いする時間を過ごすことができたり、またあるいは工作やイラストで作り上げる喜びを感じられたり、私たちにできる限りの「本物のアート」をお届けすることで、頑張っている子どもさんはもちろんのこと、そのご家族や、ご家族を支えていらっしゃるまわりの方たちに、少しでも「笑顔」を届けられたら。そう願ってやみません。

在宅訪問はまだ始まったばかりです。

周知もまだまだ広がっておらず、この活動あるいはスマイリングホスピタルジャパンという団体そのものを、まだ知らないという人もきっと多くいらっしゃると思います。

「病院の子どもたち」から「病院やおうちで頑張っている子どもたち」へ繋げ、広げるべく、これからも「本物のアート」を追求して、精進して参る所存です。

最後に、この場をお借りして、力強く「グッド！」をしてくれた、大好きなA君へ。おうたを聴いてくれて、ありがとう。



●参加してくれた子どもたちやご家族からの感想を紹介します！

とても楽しかったです。
また来てほしい～。
ピアニストさんがとても面白い方で楽しかった。私が聴きたい曲を弾いてくれて、嬉しかったです。
Bちゃん

楽しいひと時をありがとうございました。
Mちゃん
粘土アーティストさんのおかげでとても楽しく、リフレッシュできました。
ありがとうございました。
お母様



長い間の入院、孫もバァーバも疲れます。時々催し物を見せていただいたり聞かせていただき、楽しいひと時を過ごせます。
ありがとうございます。これからも健康に気をつけて続けてください。
お祖母様



毎回楽しいイベントをありがとうございます。子ども達も来てくださるたびに「今日は何するの?」と目を輝かせながら参加しています。
これからも様々な企画、楽しみにしています。
保育士さん

とても楽しかったです。
元気が出ました。
Yちゃん

入院している子ども達にとって継続的に来てくださるスマイリングホスピタル日本の活動はとてもありがたいです。毎回内容が違うので、どなたかな?と親子で楽しみにしています。
これからもよろしくお願いします。
お母様



いつも楽しいイベントをありがとうございます。
辛い入院生活ですが、このような楽しみの時間があると子どもも治療する励みになります。
毎回子どもと楽しみにしていますので、これからもどうぞよろしく願いいたします。
お母様



歌のお兄さんとお姉さんにベッドサイドで歌っていただけで特別な感じがしてとても嬉しかったです。入院していなければこんな特別なことは体験できないことなので、特別なイベント内容はとても嬉しいです。
似顔絵も初めて描いていただけで嬉しかったです。
Pさん

とても楽しかったです。初めて目の見えない人のよみきかせをききました。てんじをさわりながらよんでいるのにとってもすばやくてびっくりしました。またききたいと思いました。てんじでなまえも教えてもらって嬉しかったです。歌もすてきな声でよかったです。また聞く機会があると嬉しいです。本当にありがとうございました。
Aさん



●アーティストエッセイ

語りアーティストの川島昭恵さんが、隔月でエッセーを書いている「あけの星」（ロゴス点字図書館月刊誌）6月号にて、スマイリングホスピタルジャパンの紹介をしてくださいました。この月刊誌は読者のほとんどが視力障がいをお持ちの方で、全国で愛読者が増えています。掲載文をご紹介します。



「笑顔で一期一会」

語り 川島昭恵

突然ですが、スマイリングホスピタルジャパンというのをご存知でしょうか？病院に入院している子どもたちにアートを届ける活動をしている団体です。入院中の子どもたちに勉強を教えていた松本恵里さんが2012年に立ち上げられ、今その活動は各地に広がっています。

私がこの活動を知ったのは友達からです。彼女はすでに、そのスタッフとして活動していました。そして、私にも一緒にやらないかと誘ってくれたのです。私は迷いました。容量の悪い私です。ただでさえ日ごろ余裕なくばたばたしているのに、新たなことを始めて大丈夫なのだろうか？学校等で語りをさせてもらう時には、必ず前もって何年生の子どもたちにと知らされて、それならということでお話の演目を決められます。でも、この場合は違います。

小児病棟には、下は赤ちゃんから上は二十歳前後の子どもたちまでいます。その時にならないとどんな子たちに来てもらえるのかは分かりません。そんな状況で、みんなに楽しんでもらえるようにできるのだろうか？そもそも、赤ちゃんにお話を聞いてもらったことなんて私はまだありません。赤ちゃんにはどうしたらいいのだろうか？そんなことを考えていると、不安は増えるばかりでした。

そんなことをあれこれ思い迷っているうちに、浮かんでくる記憶がありました。6歳で失明して三カ月入院した時のことです。最初の半月は意識不明の昏睡状態でした。目が覚めて最初の頃は、とにかく苦しい時期でした。個室で母が泣きかけで付き添っていてくれました。私は見えないことをどうしても受け入れられなくて、母に当たっては逆上して泣いてばかりいました。

今改めて思うのは、人間の心は意外にタフなんだなということです。医学は進歩したとは言っても、万能ではありません。治せない病気はいっぱいあります。私の目もそうでした。あの時は、もう一度見えるようにならなければ自分がまた元気になれるなんて全然考えられませんでした。でも、私は今元気です。そして、病を抱えながらも心が健全な人は世の中にいっぱいいらっしゃいます。そして、その元気はおそらく、その人自身の努力によるばかりではなくて、他者との出会い、その関わりから引き出されてくるのがとても多いように思うのです。

一時は散々大泣きしていましたが、私は入院生活の大半を悲惨な気分で過ごしていたわけではありません。間もなく大部屋に移り、それからは割と穏やかに過ごしていたように思います。そこには病気は違いうけれど、共に良くなるために治療を頑張っている子どもたちがいました。私にとっては仲間です。それぞれにお母さんたちも一緒です。先生も看護師さんも優しいし、強力な味方です。私はいつの間にかまた笑えるようになっていました。

担当の山城先生はとても優しい男の先生でした。「昭恵ちゃんはずっと一人で竜宮城に行ってたんだよ。お母さんが毎日浜辺で泣きながら昭恵ちゃんを呼んでいたんだよ。だから、また帰って来られて良かったね」と仰いました。私は竜宮城のことは忘れてしまったけれど、自分がこうして今生きていられるのは本当に母が必死で呼び戻してくれたからだとも信じています。

もう一つ忘れられないことがあります。とても可愛がってくれた看護師さんが何かの事情で辞められる時、私と母のためにバイオリンを弾いてくださったことです。他には誰もいない静かな病院の屋上でした。静かな優しい音色の中に、温かな力強い祈りが込められていました。大好きな看護師さんにバイオリンを生で聞かせてもらえるなんて！それも私のために!!すごいプレゼントを貰った気分でした。

そんなことを思い出しているうちに、私にも何かできるかもしれないという気持ちになってきました。私がいろんな人から助けられて元気になれたみたいに、私にもできることがあるかもしれない。うまくできるか自信はないけれど、折角与えられた機会なら、精一杯やってみようと思ひ受けすることにしました。

それは4月の朝からさわやかな日でした。いよいよ私の初めての活動日です。私に初めに教えてくれた友達と代表の松本さんも一緒に来てくれました。本当に心強いです。とは言っても、本当はどきどきです。こうなったら、やっぱり肝心なのは度胸と柔らかな頭ですよね。準備はそれなりにしてきたつもりですが、はたしてどうなるのか。

ブレイルームは靴を脱いで寛げるスペースでした。間もなく小学高学年の女の子とお母さんが来てくれました。なんとなくお話ししながら他にも来てもらえるかなと待っていましたが、あまり待っていても折角来てくれたのに申し訳ない気もして、ぼちぼちと物語を聞いてもらいました。間もなく二人の高校生の女の子が加わり、どうやらその日のメンバーが揃ったようです。

物語は楽しんでもらえたようでそれは嬉しかったのですが、間近で点字を読む姿が珍しかったのでしょうか。みんながものすごく点字に興味を持ってくれたのがまた嬉しかったです。私が簡単に点字の説明をすると、それまで点字をしたことがなかったという松本さんが即興で点字の五十音の表を作り、にわか点字教室になってしまいました。とは言っても、予定外のことで、点字版等の道具も準備していません。凹凸はできないけれど、紙とペンを使いながら、みんなそれぞれ自分の名前を形作ることに夢中になり、とても盛り上がりました。気が付いたら、予定の時間は過ぎていて、名残惜しい気持ちでお別れになりました。

本当に予定は未定ですね。私は幾つか物語を用意していたのですが、その半分もできませんでした。もう少し人数も集まるのかなとどこかで期待もしていました。でも、これで充分。本当にそう思いました。友達は、この日は来てくれた子は少なかったけど、一人一人としっかり関わってとても良かったと言ってくれました。一番大事なのは予定通りにこなすことではなくて、その時に集まった一人一人と心を合わせて素敵な時間を一緒に過ごすことなんですよね。予想外の展開があってもいい。そこから生まれる素敵な空間を分かち合う。もう、あんまり不安がるのは止めることにします。これからは笑顔で掛け替えのない今と一緒に。このことを大事にしていこうと思いました。



● 兄弟支援について

子どもたちの面会は基本的に保護者だけ。たとえ兄弟が入院していても、病棟に入れない子どもたちは、親御さんがお兄ちゃんやお姉ちゃん、弟、妹に会うため病棟に入っている時、どうしているのでしょうか。病院によっては「兄弟預かり」のボランティアがいますが、預かり時間は十分とは言えません。さらに兄弟に会えない兄弟たちは、とかく寂しさや疎外感に苛まれたり、いい子にしようといや我慢していたり・・・心理的な負担も大きいものです。そんな兄弟を支える活動が、全国で少しずつ広がるようになりました。ご家族への支援にもつながっています。そのうち、国立がんセンターで活動する「NPO 法人こどものちから」をご紹介します。設立のきっかけや活動の必要性、そして今後の展望など、代表よりお寄せいただきました。



<http://kodomonochikara.org>

「こどものちから」とは・・・

突然、子どもが命にかかわる大きな病気になったとき、家族の日常は一変します。病気になった子ども自身も親御さんにとってもつらい闘病生活が始まりますが、病気の子どもの兄弟姉妹(きょうだい)がいる場合、その子もまた同じように傷つき、寂しさや不安な気持ちをがまんしながら一生懸命にがんばっています。私たちは、そのようなきょうだいや親御さんの不安などをサポートする為に、国立がんセンター中央病院の小児待合室を中心に活動を行っています。(HPより抜粋)

「病院が新しくなっても、誰も居ない待合室は以前と同じ」

特定非営利活動法人こどものちから 代表 井上るみ子

私が国立がんセンター中央病院に関わるようになったのは、今から19年近く前。三男が13歳でユーイング肉腫を発症し、闘病生活を始めたことからでした。当時末娘は、小学4年生。入院中の兄に面会に来て、感染予防対策の為、病棟へ立ち入ることは出来ませんでした。病院に来ると病棟入口の長いすに座り、一人で折紙や絵を描いて、私や兄が病棟から出てくるのを待ちました。9ヶ月後、三男を看取ることで終了しましたが、後に末娘は、「私は蚊帳の外だった。」と苦しみを私にぶつけてきました。初めて、他のきょうだいの、深く傷ついていたことに気づかされ驚きました。「病院が新しくなっても、誰も居ない待合室は、以前と少しも変わっていないよね。」末娘の発言から、家族相談士という資格を活かすために、翌月から病院に申し出て、この活動は始まりました。

月に2回6時間の活動も、6年続けると心に残る出逢がありました。例えばある日、幼稚園児を預かった時のことです。「叱られても、言いたいことややりたいことが出来るバイキンマンが好き。」2時間程のバイキンマンごっこを堪能し、活動終了時間になりました。すると、「僕、アンパンマンに戻るね。」なんと幼児の顔は、聞き分けの良い兄の顔になっていたのです。私は、家族に対する兄の思いやりを観たように感じました。ほとんどの健常な子どもは、病気のきょうだいや親のことが大好きです。だからこそ、看病に忙しい親に心配をかけないように、自分の感情を閉じ込めたり、情報不足な状態でも自分なりに、何とか折り合いをつけたりしようといやがんばっているのです。

団体になって4年目を迎えました。会員数60名、登録ボランティア数25名を越えるようになりました。待合室での活動は、毎週月曜日・木曜日と第2土曜日・第4日曜日の合計10日間30時間となりました。立ち寄ってくれる子どもや親御さんも増え、「子どもが治療や面会に、病院に来るのを嫌がらなくなりました。」「安心して面会に集中できるようになりました。」等の声が聞かれるようになりました。でも病院の面会時間すべてに、対応できている訳ではありません。いつでも人が居て、思いっきり遊んだり、たわいもないおしゃべりをしたりすることで、自分らしさや本当に大切な物を見失わないで欲しい。小児待合室は、子どももおとなも病気を持っていていなくても、安心して過ごすことが出来る居場所を目指して、活動を充実させていきたいと努力を続けてまいります。



● アシスタントコメント紹介

北海道、石巻、仙台、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、京都、大阪の各地区をまとめるコーディネーターの他に、地区によっては病院専任アシスタントを配置しています。そのうち、東京広尾の日本赤十字社医療センター担当アシスタントによる活動を通じた感想をご紹介します。

「日赤病院のアシスタントを担当して」

日本赤十字社医療センター活動アシスタント 清水 康恵

SHJの設立当初は資金面や人材確保などの問題も多く、正直なところこれほど広がりのある団体になるとは思いませんでした。これもひとえに代表理事の松本さんのバイタリテイと行動力の賜物であり心から尊敬しています。

私と松本さんは娘たちの学校のいわゆるママ友で、忙しそうにしている彼女をお手伝いしたいという、最初はほんの軽い気持ちからいきなりアシスタントとして現場に入ったため戸惑うことばかりでした。活動を初めて間もないころは「子供たちは本当に喜んでくれているのだろうか？私たちの自己満足では？・・・」という不安もありました。それでも未熟な私を温かく迎えて下さる保育士さんたちの手厚いサポートのおかげで徐々に充実した時間を送ることができるようになりました。私たちの活動で本当に笑顔になってくれる子供達や心待ちにして下さる保護者の方々がたくさんいることもわかり、誇りをもってお手伝いさせていただけるようになりました。またこの活動を通じて魅力的なアーティストの皆さんと出会えたことも私の大きな財産です。まだまだ至らない点も多い私ですが、SHJの活動が今後ますます充実していくことを目指しながら、微力ながら精一杯お手伝いしていきたいと思っております。



●スマイリングホスピタルジャパン概要 (2016年9月1日現在)

名称	特定非営利活動法人スマイリング ホスピタル ジャパン (略称: SHJ)				
設立	任意団体として 2012年2月25日 法人設立 2012年12月25日				
所在地	〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目3番15-308 電話/Fax: 03-4296-5691 その他連絡先: 090-8894-2640				
活動目的	闘病中の子どもたちが、わくわくするような楽しい時間を繰り返し持つことで、闘病意欲や生きる喜びを持ち続け、回復に向けての活力を得られるよう、QOLの向上に寄与することを目的とする。				
活動内容	美術、音楽、マジック等のプロの芸術家が小児病院の病棟、病室、自宅を訪問し、クラフトワークショップ、マジック、音楽会などを催す。子どもたちが活力や自信を取り戻せるように、作る、手品を覚える、一緒に歌う、など参加型の活動にする。見通しを持って楽しみにできるように、定期的な活動とする。 活動例: 2時間の訪問時間中、前半は病室を出られる子ども対象に病棟プレイルームにて集団の活動、後半は病室、病床にて活動可能な子どもと個別活動をする。				
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問 一人ひとりを大切に。 ・参加型活動 受け身ではなく子ども自身が主体的に。 ・定期訪問 見通しを持って活動を楽しみにできるように。 ・本物のアート 質の高いクリエイティブな活動を。 				
活動場所	神奈川県立こども医療センター各病棟 神奈川県立こども医療センター肢体不自由児施設 重症心身障害児施設 日本赤十字社医療センター小児病棟 日本赤十字社医療センター附属乳児院 石巻赤十字病院小児病棟 京都大学医学部附属病院小児病棟 宮城県立こども病院各病棟 宮城県立こども病院「拓桃館」 大阪市立総合医療センター各小児病棟 療育室つばさ 慶応義塾大学病院各小児病棟 淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院 静岡県立こども病院各病棟 北海道道立子ども総合医療・療育センター 北海道大学病院小児病棟 東京大学医学部附属病院各小児病棟 千葉県こども病院各病棟 はる訪問看護ステーション ドナルド・マクドナルド・ハウスせんだいハウス/おおさか すいたハウス 東京女子医大筋ジストロフィー親子の会 すぎなみ重症心身障害児親子の会みかんぐみ あいち小児保健医療総合センター 重症心身障害児サポート なかのドリーム				
年間活動数	244回 (2015年度実績)	年間参加者数	延べ5970名 (2015年度実績)		
役員	代表理事 松本 恵里 副代表理事 谷口 幸路	理事 高橋 精一 理事 三原 典子	監事 神津 理絵		
地区 コーディネーター	北海道: 米澤倫子 京都: 田久朋寛 愛知: 大西広行	仙台: 穴戸素子 大阪: 西 純江	石巻: 千葉淳子 静岡: 鈴木知子	千葉: 矢田美麗 東京・神奈川: 松本恵里	
事務局 運営ボランティア	13名	アーティスト ボランティア	92名	活動アシスタント ボランティア	11名
正会員	15名	サポート会員	146名 9団体		
E-mail	info@smilinghpj.org				
ホームページ	http://www.smilinghpj.org				
銀行口座	ゆうちょ銀行 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 記号: 10090 番号: 74039541 (他行から: 店名 00八 店番 008 普通 7403954) みずほ銀行 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 支店: 浜田山支店 預金種目: 普通預金 口座番号: 1950697				
活動資金	会費 個人・団体よりの寄付 企業協賛				
協賛	(株) FCA ジャパン 日本歯科医師会 日本財団 FIT チャリティ・ラン 2015 他     				

サポート会員、アーティスト・事務局・活動アシスタント・コーディネーターボランティア募集中!
詳しくはホームページをごらんください。

●予定 (2016年9月~11月)

- ❖ 9月中旬 広島地区立ち上げ準備開始
- ❖ 9月28日 名古屋大学医学部附属病院にて活動開始
- ❖ 10月初旬 平成27年度理事会・総会&都へ事業報告
- ❖ 10月22日 日赤在宅児童と家族の交流会「コアラの会」に参加
- ❖ 10月23日 ドナルド・マクドナルドハウス せたがやハウスのオープンハウス参加

～後記～

9月は団体の決算月です。活動増加に伴う会計業務に対応するため、経理スタッフの増員を検討中です。また、都への事業報告、登記を済ませたのち、いよいよ認定申請を行います。ご寄付くださる方々が寄付控除など税制優遇措置を受けられるよう、また、継続的な資金調達のために「認定取得」を目指します。すべては子どもたちとご家族の笑顔のために・・・
スマイリングホスピタルジャパンスタッフ一同